

仙台市の特別支援教育の現状

図1 小中学校の通常の学級に在籍する発達障害児童生徒数の推移

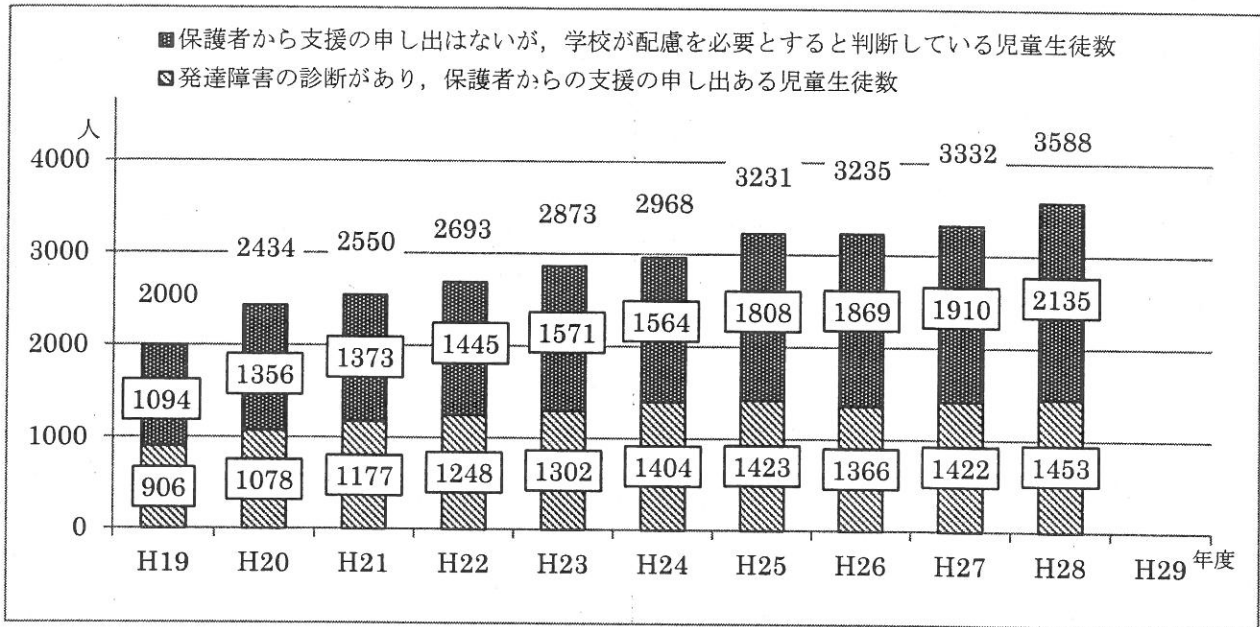


図2 特別支援学級における個別の教育支援計画の作成率と作成人数推移（院内学級含む）

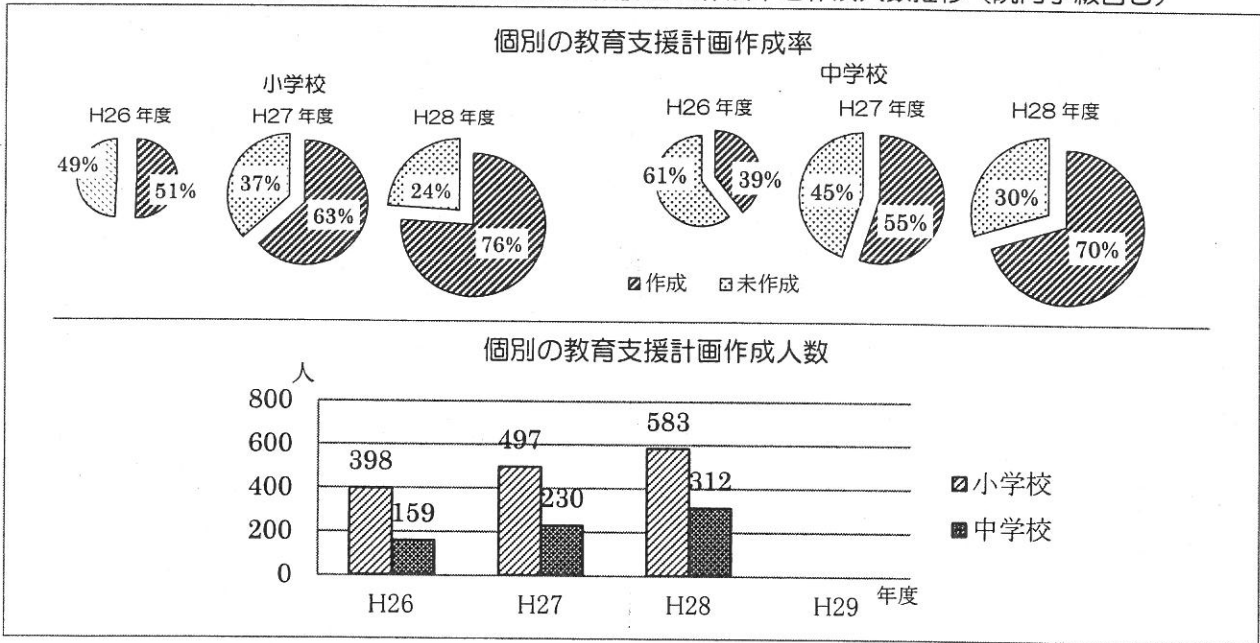


図3 通常の学級に在籍する支援を要する児童生徒の個別の指導計画・個別の教育支援計画作成数推移

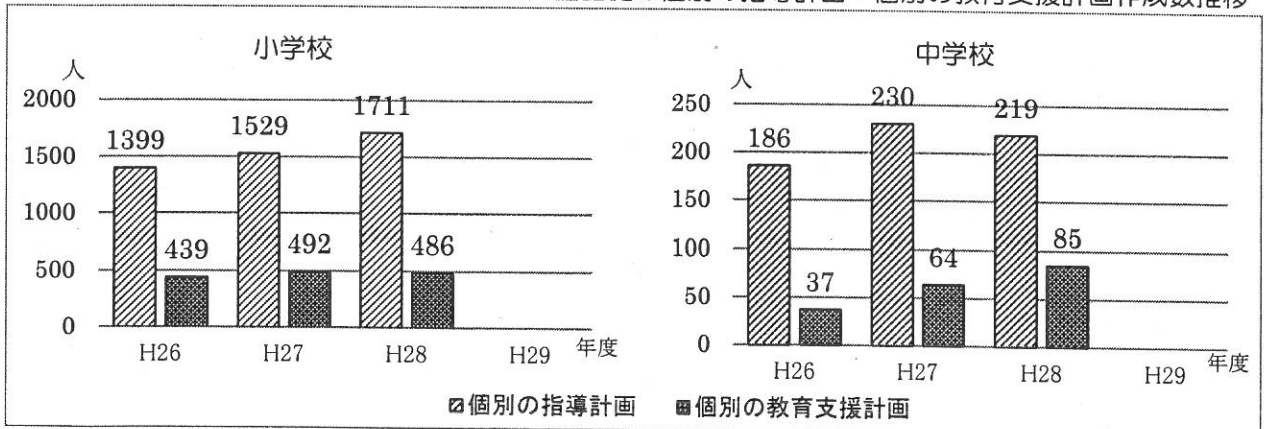


図4 平成29年度の特別支援教育コーディネーターの指名状況

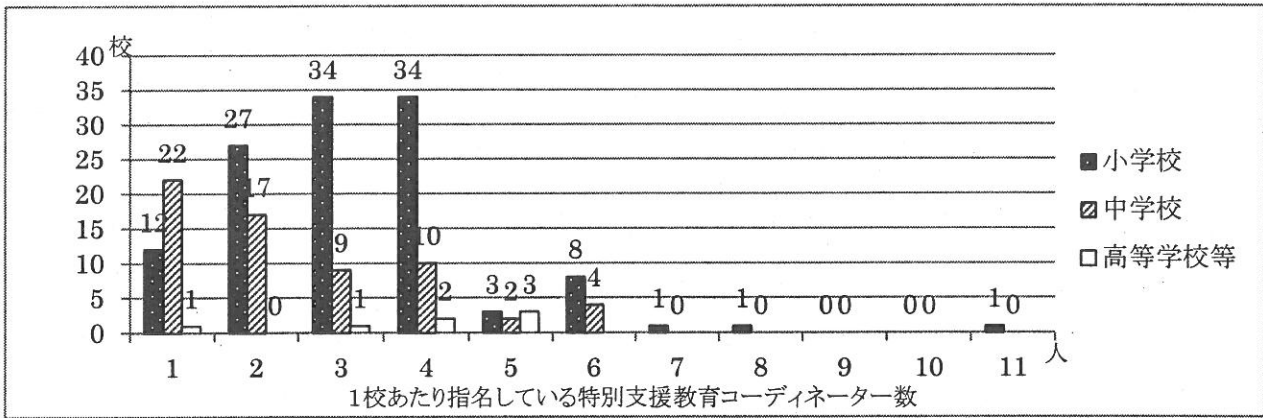
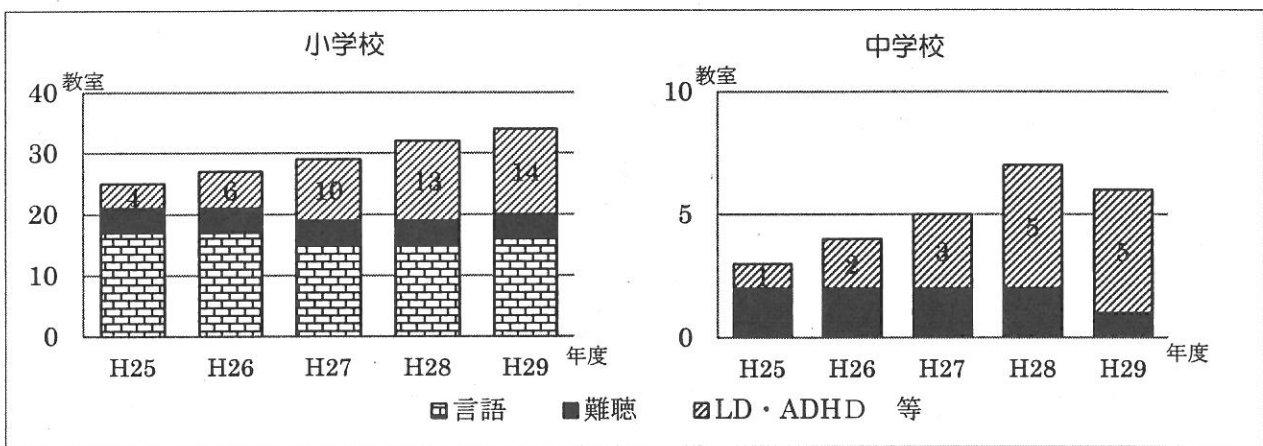


図5 通級指導教室数の推移



(注1) 仙台市では、難聴特別支援学級において通級方式を導入しており、在籍児童生徒以外に通級児童生徒がいる学級がある。グラフの難聴通級教室数には難聴特別支援学級数も含んでいる。

図6 特別支援教育指導補助員の配置人数の推移（平成29年度は6月末現在）

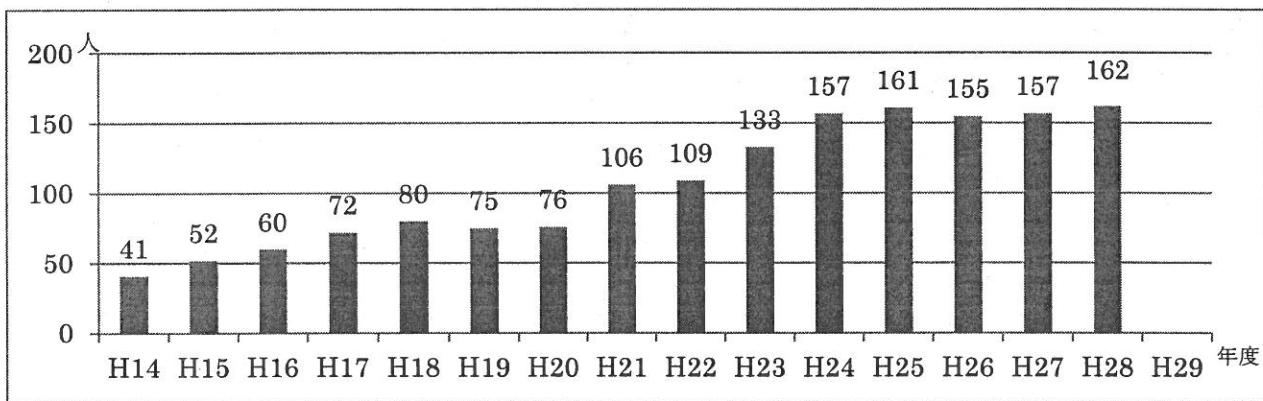


表1 平成29年度の医療的ケア対象児童生徒及び看護師配置数

	小学校	中学校	特別支援学校	計
学校数	19校	2校	1校	22校
児童生徒数	22人	2人	11人	35人
日々勤務看護師（総数）	20人（22人）	2人（3人）	9人（10人）	31人（35人）

表2 平成29年度の鶴谷特別支援学校の在籍児童生徒数

学部	単一障害		重複障害			在籍数
		うち自閉症		うち車椅子使用	うち看護師対応	
小学部	34人 (67%)	17人 (33%)	17人 (33%)	17人 (33%)	2人 (4%)	51人
中学部	30人 (73%)	16人 (39%)	11人 (27%)	10人 (24%)	5人 (12%)	41人
高等部	54人 (89%)	36人 (59%)	7人 (11%)	4人 (7%)	4人 (7%)	61人
計	118人 (77%)	69人 (45%)	35人 (23%)	31人 (20%)	11人 (7%)	153人

図7 平成29年度特別支援学級担任の年代構成

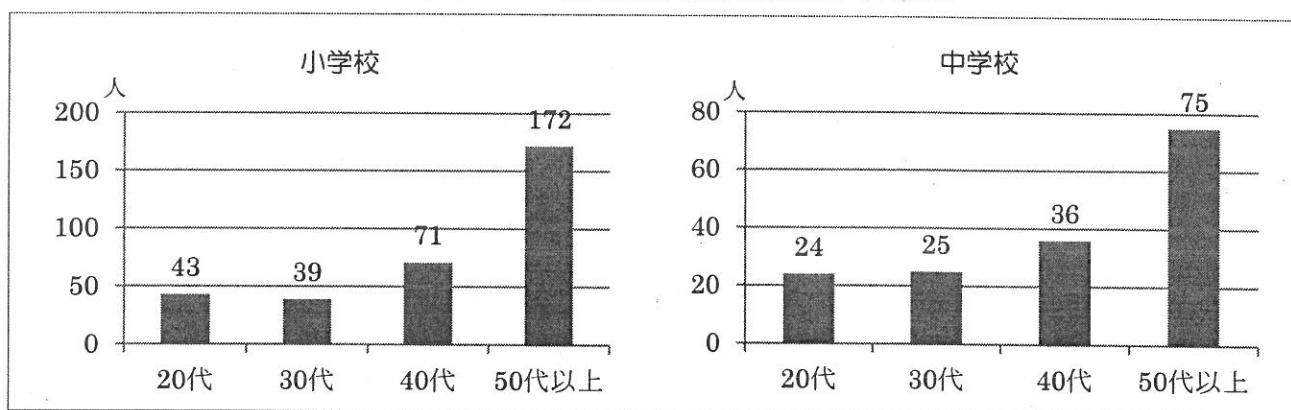


図8 平成29年度特別支援学級担任の特別支援教育経験年数

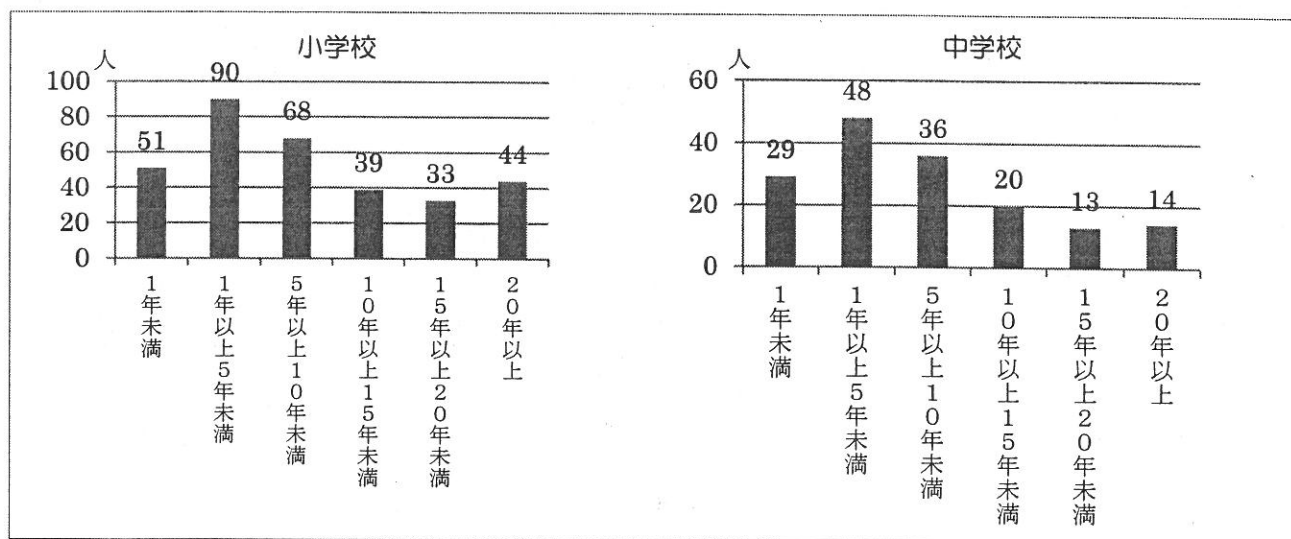


表3 平成29年度までの特別支援教育実践研究協力校の認定校数

	幼稚園	小学校	中学校	中等教育・高等学校	特別支援学校	計
H29年度学校数	1園	120校	63校	5校	1校	190校
認定校数	1園	105校	38校	5校	1校	150校
認定率	100%	87.5%	60.3%	100%	100%	78.9%

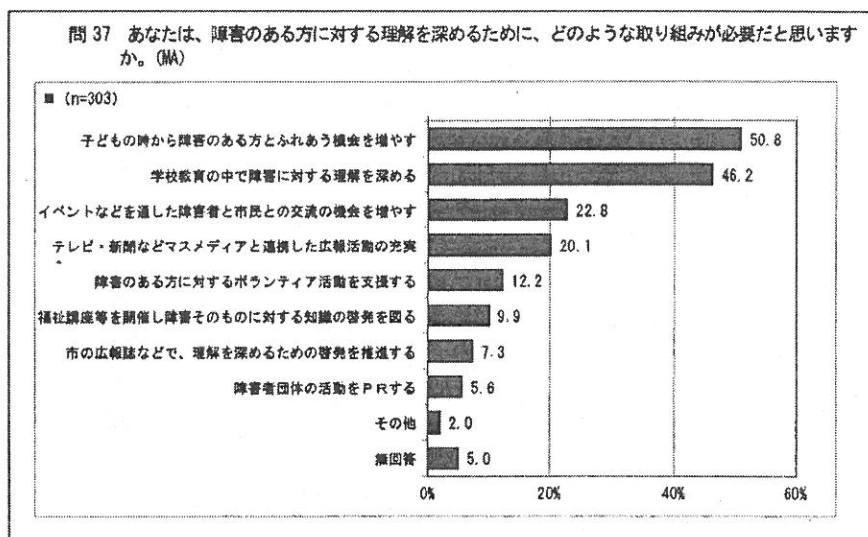
表4 仙台市教育委員会発行の特別支援教育参考資料

資料名	発行
「平成30年度小学校入学予定者向け お子さんにふさわしい学びの場を考えるために」	平成29年4月
「みんな生き生き仙台市の特別支援学級」	平成29年3月
「将来までつなごう 支援と相談のバトン～切れ目のない縦の連携を目指して～」	平成28年3月
「子どもが輝くために～気づいて 認めて 支えて～」	平成27年3月
「平成26年度版 仙台市の特別支援教育」	平成26年3月
「認め合い、かかわりあう 授業をつくる」	平成25年3月
「高等学校段階における一人一人の教育的ニーズに合った支援のために」	平成25年2月
「こんなときどこ連携 Q&A 24」	平成24年3月
「今日からできる自立活動」	平成23年3月
「特別支援教育における自分づくり教育」	平成22年3月
「新しい交流及び共同学習」	平成21年3月
「気づいて 認めて 支えて」(保護者用, 全職員用)	平成29年3月

「仙台市障害者等保健福祉基礎調査報告書(平成29年3月 仙台市)」からの引用データ

(調査対象: 一般市民の方 配布数 697, 有効回収数 303, 有効回収率 43.5%)

- P4「障害理解を深めるために必要だと思う取組(市民の方へのアンケートより)」にて引用



- P5「障害のある方への理解の深まり(市民の方へのアンケートより)」にて一部引用

